

# e コミとデジタルアース

## e-community and Digital Earth

# 長坂 俊成 [1]  
# Toshinari Nagasaka[1]

[1] (独) 防災科学技術研究所  
[1] NIED

近年、都市化、少子高齢化に伴い、地域コミュニティの紐帯が弱まり、地域社会の共助による防災力が脆弱化しつつあるといわれる。一方、災害ボランティアなどによる広域的な社会ネットワークが被災地の救援や復旧過程で大きな役割を果たしている。特に、不確実性が高くかつ冗長性がある大規模な自然災害リスクに対して地域社会が備えるためには、国や自治体などの災害対応を高度化することに加え、自助や地域コミュニティの共助による地域防災力の向上や社会関係資本（ソーシャルキャピタル）のネットワーク化による災害対応の高度化が不可欠となる。

本論では、日常の地域コミュニティの活性化が、地域防災力の向上に寄与するとの認識に立ち、地域コミュニティの生活情報等を共有するための情報通信基盤（以下、e コミュニティプラットフォームという。）を活用し、リスクコミュニケーションを通じた地域リスクガバナンスの戦略と社会実験を通じた事例分析について発表する。

